

城南地域づくり通信

第14号

令和4年3月
発行



～みんなで参加しよう！楽しい地域づくり～

(編集・発行) 城南地区地域づくり協議会 (事務局) 城南支所 ☎268-2111

城南地区地域づくり協議会では、城南地区の特色を活かし、住民の皆さんが支えあい、誰もが楽しく、安全に安心して暮らせる地域をめざして活動しています。

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、予定していた事業が中止となったものもありましたが、感染予防対策を行ったうえで実施した活動をご紹介します。

城南地区地域づくり協議会総会を书面開催

令和3年度の総会は、新型コロナウイルスの影響で一堂に会することが困難なため书面開催となりました。令和2年度の事業報告、決算報告や令和3年度の予算案、事業計画の関係書類を会員へ送付しました。会員からは5月28日までに賛否を示す表決書を提出してもらい、提出のあった全員の賛成により全議案が可決されました。

城南地区文化祭は中止でした

令和元年度までは、城南地区文化祭において各部会の活動報告等をパネル展示するほか、開会式の終了後に、子ども絵画コンクール・写真コンクールの入賞者の表彰式を行っていました。

令和3年度の文化祭は11月6日(土)～7日(日)の2日間を予定していましたが、前年度に続いて新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

絵画コンクール・写真コンクールの入賞作品は、10月24日(日)地域福祉部会で表彰式を行うとともに、11月1日から30日までの1か月間、城南支所ロビーで展示しました。

地域づくり協議会の掲示板が
できました



地域づくり協議会からのお知らせや、「地域づくり通信」「あおぞら号通信」などを常時ご覧になれるよう、城南支所のロビー内に掲示板を設けました。

また、地域づくり協議会では、前橋市のホームページを使って様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。



🏠前橋市ホームページ
「城南地区地域づくり協議会」



城南地区地域づくり協議会では、
一緒に活動する仲間を募集しています！

4つの部会があるので、お好みの活動の場をお選びください♪
(お問い合わせは城南支所☎268-2111まで)

安全安心部会 ～住み慣れた地域で安心してくらすお手伝いを！～



平成26年3月5日に移動販売を開始した「フレッシュ号」は、令和3年10月末日で利用者数累計4万人を達成！

多くの皆様に利用して頂き、また将来までつながるようにと買い物に協力して頂いた皆様に感謝申し上げます。

これまでの利用者数を年度別でまとめてみました。

平成25年度（平成26年3月のみ）	394人
平成26年度	4,646人
平成27年度	4,609人
平成28年度	4,815人
平成29年度	5,293人
平成30年度	5,580人
平成31/令和元年度	5,516人
令和2年度	6,135人
令和3年度（10月末まで）	3,166人
累計	40,154人

販売場所では、利用者の皆さんの楽しい会話の機会になっており、移動販売は将来へと繋げなければならない活動だと考えます。今後ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



利用者数4万人達成イベントの実施を検討中です♪

文化財部会 ～歴史には不思議がいっぱい！歴史に触れてみませんか？～

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関する城南地区の文化財

■西大室町観昌寺の大室太郎の古碑

前橋市重要文化財に指定されている古碑（宝塔）は、源頼朝の父・義朝側の武士として1160年の平治の乱に参加し、平清盛と戦った大室太郎のものと伝えられています。

■二宮赤城神社

源頼朝は、1191年に上野国奉行人・安達盛長（藤九郎）に命じ、一の谷の合戦で平家の大将・平忠度を討ち取った岡部六弥太忠澄と二宮太郎浅忠（山上氏）を奉行に任じて壮麗な社殿（二宮赤城神社）を建立させました。のちに、頼朝の嫡男・実朝が二宮赤城神社の壮麗な社殿のことを詠んだ歌が、金槐和歌集に収められています。

■北条義時と戦った後鳥羽上皇側の侍大将・大屋秀康

歴史学者峰岸純夫氏と尾崎喜佐夫博士によると、平家物語に登場する大室氏は、大屋孝綱（長沼太夫）に始まる大屋氏であると考えられます。大屋孝綱の曾孫・秀宗の嫡男が大屋秀康（藤原秀康）で、大室太郎の子孫です（大屋氏＝大室氏）。秀康は後鳥羽上皇側の大将であり、北条義時との戦いに敗れ自害します（承久の乱）。

大室荘は大屋秀康の領地でしたが、秀康は後鳥羽上皇側の上級武士として京都に住み、大室荘は一族か家人が管理したのでしょうか。館跡は観昌寺のあるところか、観昌寺の西方に位置する富士山の薬師堂のあるところと考えられます。大屋氏滅亡後、大室荘は安達盛長の子孫・安達景村（大室三郎）の支配となります。観昌寺は大室三郎と大室義宗（1285年の霜月騒動で討ち死）の館跡に建てられた菩提寺と考えられます。

コロナ禍で講演会などの行事が開催できず、今後にご期待ください。



地域福祉部会 ～支えあいのまちづくりを楽しみながらすすめたい！～

「私たちの身近にある自然豊かな子ども絵画コンクール・写真コンクール」

2つのコンクールに総勢73名の応募があり、小学生低学年の部と高学年の部、そして写真の部のそれぞれで会員による審査を行い、入賞作品を選びました。

10月24日(日)、コロナ禍が落ち着いた秋に城南支所ホールで表彰式を行い、城南地区地域づくり協議会茂木会長から入賞者に賞状と記念品が贈られました。

表彰式終了後、前橋市民吹奏楽団のメンバーによる記念演奏会が行われ、参加者全員が吹奏楽の音色を楽しみました。



おじいちゃんの知恵に学ぶ三世代交流会「ミニ門松づくり」

年の瀬もせまった12月25日(土)、毎年恒例となった「ミニ門松づくり」を城南支所ホールで開催しました。

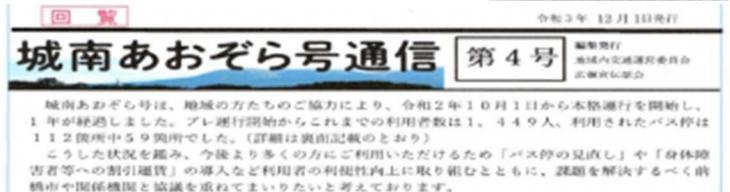
20家族60人の参加者とともに、指導役として城南老連の岡会長ほか4名、前橋市社会福祉協議会職員、包括支援センター城南上毛の里、包括支援センターランチすみれ荘、民生委員・児童委員連絡協議会会長、地域福祉部会会員など総勢92名が集まり、高齢者から子どもまで集いあった楽しい交流会となりました。

この日は上毛新聞社の取材もあり、翌日の新聞に掲載されました。



地域内交通運営委員会 ～城南地区内の交通対策に取り組みます！～

令和3年度は、「城南あおぞら号通信」第3号・第4号を発行！



「城南あおぞら号バス停別乗降者数」(第4号裏面に記載)をご覧頂いたとおり、利用者数は想定より少ない数でした。

運営委員会では、バス停の見直しなど利用者の利便性向上に取り組み、下記の通り令和4年3月に既存のバス停3か所を廃止し、新たに5か所を新設しました。今後も各町と協議しながら、ドアツードア方式に近い構造を目指したいと考えています。

「あおぞら号」の運行継続には、一層の利用者増加が必要です。城南地区の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

※廃止バス停=荒子町杉山家/小屋原町前原南/鶴が谷町2街区10-104

新設バス停=西大室町セルフおおむろ/原組集会所/ニ之宮町無量寿寺前/

鶴が谷町4街区116/市総合運動公園プール南駐車場

感染症対策



- 運転手のマスク着用徹底
- 車内の換気
- 車内のアルコール消毒を毎日実施

利用を待ってるね、
よろしくです。



利用方法

裏面で利用するバス停の番号と名称を必ずご確認の上、予約してください。

予約センター **027-212-8511**

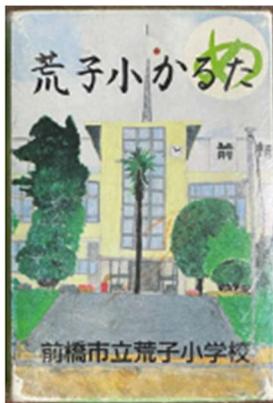
月曜日～土曜日 8:30～16:30 運行※ 運賃 300円(中学生以下は半額・未就学児無料)

※予約時間は8:00～16:00

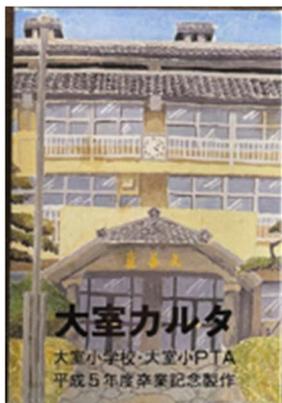
城南地区の魅力がぎゅっとつまった「地域かるた」

城南地区内の複数の小学校で、地域の文化財や情景を詠み集めた「地域かるた」が作成されていることをご存知ですか？

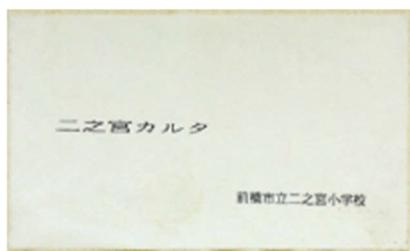
子どもたちはかるた遊びを通じて地域のことを知り、また故郷を愛する心を育てていると思います。地域の魅力が詰まった「地域かるた」を紹介します。



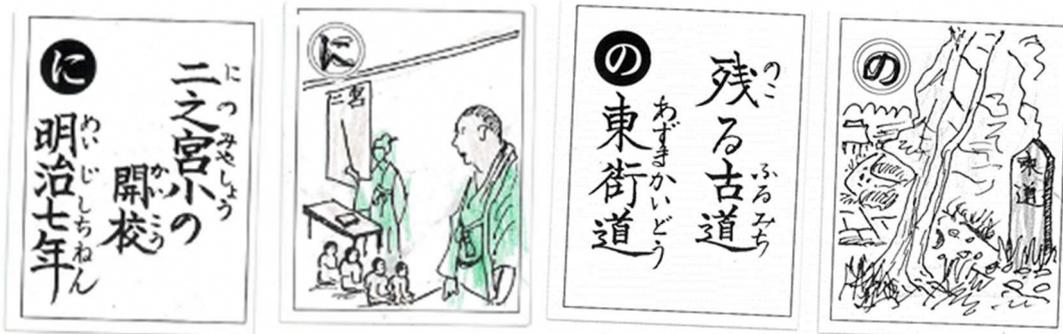
「荒子小かるた」1997年（平成9年）作成



「大室カルタ」1993年（平成5年）作成



「二之宮カルタ」
1983年（昭和58年）作成



※この特集を掲載するにあたって、「筑井小学校のかるた」があるのか調べましたが、見つかりませんでした。

「持っている」「知っている」という方がいらっしゃったら、ぜひお知らせください！



「地域かるた」は、地域のことを知るためだけではなく、かるた遊びを通じて地域のことを代々伝えるとともに、世代を超えた交流をはかることにつながります。

城南地域づくり協議会広報編集委員会では今後、城南地区の魅力を集めた「(仮称)城南かるた」の作成に向けて検討を始めたいと思います。

ご興味のある方やご協力いただける方は、城南支所までお問い合わせください。